

# 国営飛鳥歴史公園は、50周年を迎えます。



わが国古代の政治と文化の中心として栄えた「飛鳥」。高度経済成長期の昭和40年代はじめ、この地にも開発の波が押し寄せました。

開発か保存か：村民の議論が深まる中、御井敬三氏の「声の直訴状」により飛鳥保存が大きく動き出し、その流れのひとつとして昭和46年に「国営飛鳥歴史公園」の整備が始まり、昭和49年に最初の地区が開園しました。

それから50年。飛鳥の歴史的風土を保存し活用を図る上で拠点となる地域について、その歴史的蓄積や植生などを考慮し、周辺と調和した景観となるよう整備を進めてきました。

公園にはフェンスもなければ大きな看板もありません。「飛鳥を楽しむこと」と「公園を楽しむこと」が一体となっている。それが飛鳥の風景を守る一員の、我々、飛鳥歴史公園なのです。

飛鳥とともに50年。これからも地域の人々と一緒に、「日本人の心のふるさと飛鳥」を後世の人々に守り伝えていきます。

